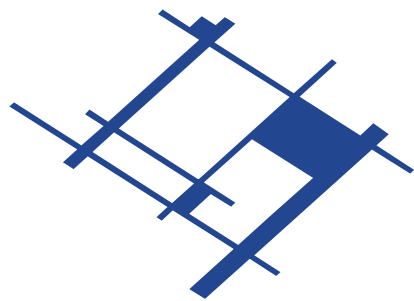


ミチとマチ

活動をミチで繋ぎ
見通しの良いマチをつくる

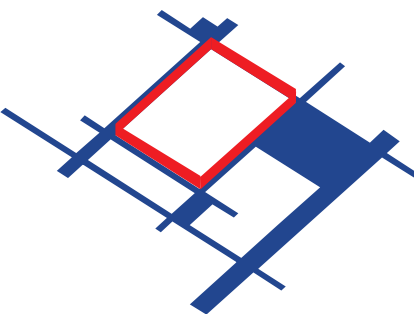
密にならない、新しいふれあいの展示のあり方として、見通しが良く、外部からもイベントが見渡せるミチによる展示空間を提案する。新宿駅西口広場は、多くの通行人の往来がある場所である。その人の流れを引き込み、展示やイベントを楽しめる空間の仕掛けを設計する。

01 活動をミチで繋ぐ パンチカーペット



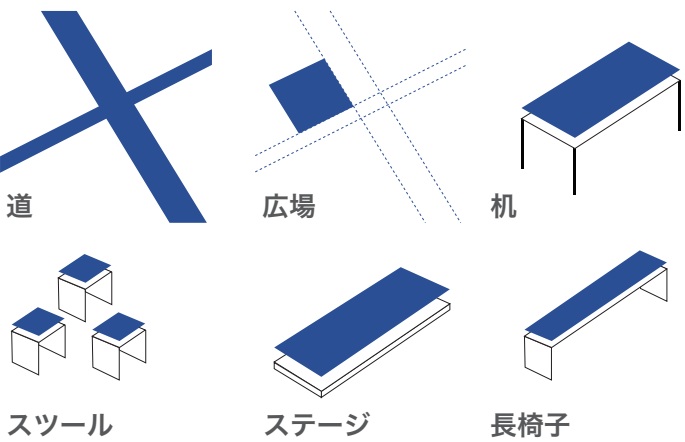
- ・敷地周辺の人の流れ引き込む
- ・回遊性を持ち各エリアを結ぶ
- ・通りがかりの出会いや発見

02 展示を中央に集約 展示パネルのコア



- ・会場の見通しの良さを確保
- ・求心力を持つイベントの中心
- ・一周してイベントを楽しめる

03 イベントを彩る 什器のアレンジ



毎年実施される「建築ふれあいフェア」に新しいビジュアルイメージを与えることも考慮している。最小限の工夫で誰でも設置・設営可能な素材を使用することを考えた。私たちが提案するのは、まるでテーブルクロスのように、展示会場へブルーカラーのパンチカーペットを一枚重ねるだけのデザインである。イベント会場でもよく用いられる建材であり、道や場をつくり出し、机や椅子などの家具にもアレンジを行い、展示会全体のイメージを統一させ、新しい風物詩となる。

